

月刊 おかじょうき

おもしろ

<http://www.okajoki.com/>

D511

2025

7

無人駅鑑賞「カンテラ」 むさし 4

会員雑詠集「無人駅」 7

■例月句会結果■

おかじょうき川柳社 6月例句会 19

十和田たてがみ川柳会 5月句会報 25

Infomation 28～

月刊おかじょうきを

ど～～しても紙で見たい！

というあなたへ

2月号から紙の柳誌発行を止め、電子柳誌だけの発行に移行しましたが、皆さんには「絶対、電子だけで見てください！」とやっているわけではありません。経済的に余裕のある方は（といっても月数百円くらいですが笑）、製本された形ではないですが、紙に印刷して読む方法もありますので、以下の方法の中から、ご自身の周辺の環境に合った方法でお試してください。

【方法①】PCとプリンターで印刷する

お家にパソコンとプリンターがあれば、電子柳誌をお好きな大きさの用紙に印刷すればOKです。

【方法②】スマホとセブンイレブンで印刷する

右のアプリを使って、お近くのセブンイレブンのコピー機でスマホで印刷することができます。



【方法③】スマホと近くのコンビニで印刷する

右のアプリを使って、お近くのコンビニ（ローソン、ファミリーマート、ミニストップ、ポプラ）のコピー機から印刷することができます。



【コンビニでのプリント参考価格】

A3モノクロ1ページ：約20円 / A3カラー1ページ：約100円
見たいページだけ印刷して節約するのもアリですね！

カンテラ

むせし

この稿を書いているのは6月11日。川柳ステーション2025まで一ヶ月を切った。

月刊おかしょうきの裏表紙に「おかボキ」公開録音！

とあって、「MC: Sin・むさし」と書かれている。

「当日の特選句をテーマに作者と選者の思考を深掘りしてみたい」とも書いてある。

「MC」は master of ceremonies のこと。

楽しみだなあ、怖いなあ。

それでは、カンテラに明かりを点しましょう。

A群

後期高齢それでも新芽顔を出す

奥田悦生

捨てました働きづめの腕時計 熊谷冬鼓
お静かに風神様がお越しです 四ツ屋いずみ
好物は悪夢 酒には興味なし 葉 閑女
限りあるいのち言祝ぐ花吹雪 吉見恵子
譲れない位置で地鳴りを聴いている 三浦蒼鬼
この山を登ると決めたハイヒール 芝岡かんえもん
縫い掛けのドレス、キャンセルした夜と 吉田州花
菜の花の臭いで迷路抜けられず 舟木小柳
カニカマがトゲリガニをライバル視 渡邊こあき
縄文の木かけ土偶と雨宿り 金瀬達雄
白い手のままで何処にも進めない 嵯峨山登
ハイターに漬けおき洗いする疑惑 峯島 妙
本当のことは言わなくもり空 鳴海賢治

鳴海賢治さん、この「くもり空」は嘘つきなんです
ね(笑) もちろん比喻でしょうが、本当は誰のことか
な。賢治さん本人のことかも…。あれ？違いますか？

B群

射程内に居るのに気づかれていない

斎藤泰子

右大腿骨頭からガ行鼻濁音

小野五郎

脳みそにびー玉メンコ夏燕

岩根彰子

濃い影の人と朝まで飲み明かす

須藤しのすけ

泣きはしません心が水びたし

きこぎ彼句吾

老人にならないように老いてみる

夏草ふぶき

ついで来る月に行き先聞いてみる

辻井洋子

じっとして鼻になる薄い月

戎 踊兵

拝啓と書いて雨だれ数えている

柳本恵子

柳本恵子さん、「前略」ではなく「拝啓」というこ

とは改まった内容の手紙なんです。気楽な内容だと
すんなり書けますが、そうじゃないので「拝啓」と書
いてからペンを置き、さて次をどうしようと考えなが
ら「雨だれを数えている」。大雨だと数え切れないか
ら小雨かな？誰に書いているんでしょうね。

C群

胡瓜五本叩いてガザの子を思う

亥の一

値下げしました私の幸福度

まきこ

電卓を持って踊っただけなのに

尾崎良仁

明確な殺意のあった波の音

守田啓子

小枝まで芽吹いて嘘は春を待つ

米山明日歌

亥の一さん、「胡瓜五本叩いて」って叩き胡瓜でも
作ってるのかな。要するに、食事の支度をしているん
ですね。つまり、普通に生活をしている。その日常の
中に「ガザの子を思う」という非日常があるという設
定ですが、もしかしたら、「ガザの子を思う」という

非日常が今や日常になってきているということかもしれないですね。

まきこさん、「幸福度」を「値下げ」したのですか。「幸福度」って、2010年に参議院第二特別調査室長の五十嵐さんという方が「幸福度とは、簡単に言えば、幸福の程度である。」と書いてあるあれですよ。でも、この方の説明、ずいぶん乱暴です(笑) 要するに、どれくらい幸福かということ。「幸福」というのは、上を見ても下を見てもきりがありません。まきこさんは、どうして自分が望んでいた幸せのレベルを下げたのでしょうか。

尾崎良仁さん、「電卓」って、広辞苑に「電子式卓上計算機の略。電子回路により加減乗除など簡単な計算を行う小型の計算機」と出てくるやつですよ。それを持って踊るって、どれくらいのサイズの「電卓」なのかな。手の中に入ってしまうようなサイズだと目立たないし…。いずれにしても珍しい踊りですね。どのような衣装で、どういう振り付けで、どういう場で披

露するんでしょう。良仁さんに言わせれば「だけなのに」なんだけど、ぶつぶつ。

守田啓子さん、この句の「波」ってどこの波ですか？啓子さんは三沢市民だから、世界初太平洋無着陸横断飛行に成功した「ミス・ビードル号」の出発点津代海岸かな？もしかしたら、2011年3月の東日本大地震の津波かな。いずれにしても「明確な殺意のある」波の音「なんてものには出くわさないようにしたいですね。おお、怖！」

米山明日歌さん、「小枝まで芽吹いて」って、これは「嘘の木」ですね。「嘘の木」も年々成長して巨木になるのかな。それにしても、「嘘」が「春を待つ」という発想は凄い。

「嘘の花」が満開になったら、どうなるんでしょう。「嘘の花」の花吹雪なんて考えると眠れなくなってしまう…。

おかげさまで加柳社会員雑誌集

無人駅

★無人駅6月月間賞

右の手を一度お墓に埋めに行く

夏草ふぶき

吉田州花【よしだしゅうか・青森県青森市】

五月なのに荒れる海泳がされ
五月だから杜甫一行を誦じる
たんぼぼの気まま今日はもういない
ペンを持つ私が誰か忘れる時間
縫い掛けのドレス、キャンセルした夜と

先月号のお気に入り
丸ごとのキャベツがばつと平野レミ 峯島妙

吉見恵子【よしみけいこ・青森県青森市】

限りあるいのち言祝ぐ花吹雪
めでたさは毎日誰か誕生日
カレンダーに桜を貼って髑髏をはって
クリオネのどこかサガンの顔に似て
シルバーアロワナ一億年のタイムマシン

先月号のお気に入り

四ツ屋いずみ【よつやいずみ・北海道札幌市】

お静かに風神様がお越しです
サファイニア系の生まれなんです かしこ
規則正しいレース模様の雨で
ポプラの綿毛並みの約束ずらり
つい初夏を詰め込みすぎるメルカドバッグ

先月号のお気に入り

米山明日歌【よねやまあすか・静岡県長泉町】

譲れない嘘ひとつ持つ夕まぐれ
不器用な男の嘘が泡立たぬ
呑み込んだ舌が夜中に吠えている
足音を聞き分けられる寒い耳
小枝まで芽吹いて嘘は春を待つ

先月号のお気に入り
三月のぼこぼこに躓いている 守田啓子
どうも躓くと思ったら、三月はぼこぼこしていません
ね。納得です。

渡邊こあき【わたなべこあき・青森県青森市】

イルカほど飛べなかつたな青春期
はじめての海釣りサメを釣っている
フジツボにブームがくるか陸奥の海
カニカマがトゲクリガニをライバル視
葉槽の桜鯛 なにに傷ついた

先月号のお気に入り
受け取ったバトンがみんな徹ている 戒踊兵
渡せる人がいるのなら、なんで早く渡さないかなあ。

安藤なみ【あんどなみ・愛知県瀬戸市】

根競べとコンクラーベと戦争と
新幹線でシルクロードも乙なもの
ボウフラを茹であげている日向水
三輪車のシートベルトが落ちて
何回目かのグルテンフリーでルンルン

先月号のお気に入り
無職って書いて不孝と読んでいる 村井規子
同感です。

帆【いちほ・秋田県秋田市】

くたびれて同化できない運命線
鬱の日の水面にぼつん渡し舟
行き止まり右手で閉めた非常口
夏カレー耳鳴りの音五月雨の音
人徳の欠片 星空に一つ

先月号のお気に入り
ハグしてあげる嘘も本当もせんぶ 柳本恵子
さよならの時にきつと…

亥の一【いのいち・青森県青森市】

重箱の隅まで錆びた脳である
嗚呼露西亞 トルストイの露西亞が嗚呼
坂下る叩き胡瓜の胡瓜買い
胡瓜五本叩いてガザの子を思う
米蔵に隠しカメラとGPS

先月号のお気に入り
いつだって姉に向いてた不等号 守田啓子
四人姉妹の次女だった母は老いても姉御との格差を語って
いました。

岩根 彰子

【いわねあきこ・京都府京都市】

青紫蘇の遠い目ビンゴ突き抜けた
こんな日は薄焼き卵脱いでやる
脳みそにびー玉メンコ夏燕
緑陰ややさぐれている白ヤモリ
銭湯の天窓軽い白内障

先月号のお気に入り

戎 踊兵

【えびすようへい・青森県外ヶ浜町】

じつとして鼻になる薄い月
ほこら覗けば苛立ちの無い眼
駆け出して埋没林の語を拾う
春霞み行き交う人も羽音して

先月号のお気に入り

立ち枯れのアジサイだったこともある 熊谷冬鼓
雪を浴びても幽かな赤を残すアジサイに惹かれます。
うしちや居られないってね。こ

小野 五郎

【おのごろう・青森県青森市】

右大腿骨頭からが行鼻濁音
その昔野生児だったアマリリス
人肌の湿り気があるサルスベリ
カブキチョウ19の私とすれ違う
甲板で寝ててチークになっちゃう

先月号のお気に入り

金瀬 達雄

【かなせたつお・富山県高岡市】

縄文の木かげ土偶と雨宿り
やわらかな桑の葉ください蚕になる
眠ってる奴らが支配するオラン
ねばならぬネバネバ笑う春の鴨
崇神陵の黒揚羽とは俺だろう

先月号のお気に入り

花冷えの街をさまようハンモック 小野五郎
私もハンモックかな…。

奥田 悦生

【おくだえつお・三重県伊勢市】

シャボン玉五月の風に恋をする
昼の酒雲と飲んでる五里霧中
召されるまではキラキラ星で居たいから
月の光に輝く阿弥陀如来像
後期高齢それでも新芽顔を出す

先月号のお気に入り

酸ヶ湯の湯首までつかる退職日 笹田隆志
一度は浸かってみたいけど…

尾崎 良仁

【おざきりょうじん・千葉県船橋市】

くちびるの事後報告が始まるよ
煮凝りところろ風俗嬢の舌
否定しましたね人間の顔して
魂が放屁するほど疲れてる
電卓を持って踊っただけなのに

先月号のお気に入り

きさらぎ 彼句吾

【きさらぎあきあ・青森県弘前市】

靴音もアレグロになる春になる
それでなんでどうしてと追い詰められる
鳴らすだけ鳴らしてふいと肩透かし
泣きはしません心が水びたし
また悔いが振り向く昏いまなざしで

先月号のお気に入り

針穴を抜けて手渡すチヨコレート 亥の一
勇気を振り絞ったんですね

熊谷 冬鼓

【くまがいとうこ・青森県青森市】

相性はプラスチックライバーにだつてある
トリカブトは種まで売れているらしい
捨てました働きづめの腕時計
派手過ぎる傘だ閉じたり開いたり
啖呵切る棚にぼた餅置いてある

先月号のお気に入り

弁当を皿に並べるだけの役 安藤なみ
簡単そつて難しい。

斎藤泰子【さいとうたいこ・秋田県大館市】

繕いようなない鉤裂きになった
一対という形からささくれる
お静かにこの場が汚れないように
射程内に居るのに気づかれていない
葉桜のさわさわ余生ここからだ

先月号の
お気に入り

坂本清乃【さかもときよの・青森県蓬田村】

本命を掴み損ねて途中下車
水割りの氷がやけにはしゃいでる
芋突く含み笑いのカラスたち
独り居のキーマカレーにおーいお茶
どうぞどうぞしゃしゃりやる蓬餅

先月号の
お気に入り

嵯峨山登【さがやまと・佐賀県大和町】

のこされた君が足りない埋まらない
響くのをやめるな海が霞んでも
白い手のままで何処にも進めない
君が逝く前に言の葉絞り出す
いつかまた緑柱石の羽で翔べ

先月号の
お気に入り

笹田隆志【ささだたかし・青森県青森市】

じつと見るジャガイモの芽を土踏ます
公務員の肩甲骨にハエが棲む
土俵際で親子鑑定する行司
信長が石田三成庇つてる
性懲りもなく梅干しだけのモーニング

先月号の
お気に入り

芝岡かんえもん【しばおかかんえもん・神奈川県横浜市】

迷路ではわたくしをクネクネにする
半グレのわたし何度も塗り直す
あらがえず襖の奥の北極海
数々のさよならをビタミンにする
この山を登ると決めたハイヒール

先月号の
お気に入り

城後朱美【じょうごあけみ・福岡県八女市】

桜満開娘家族と北陸路
回る寿司の皿と民宿に雑魚寝
嬉しくもあり娘婿にいたわられ
長女が惚れた九谷焼に魅せられて
旅終わる娘夫婦に見送られ

税務署に漂っている吟醸香

小野五郎

吟醸香とは吟醸造りの工程で酵母が生み出す香りである。なるほどつまり人間と云う酵母が生み出すお金の香りですかね。凄い！

須藤しんのすけ【すとうしんのすけ・青森県弘前市】

薄紅にわたしを染めたのはわたし
濃い影の人と朝まで飲み明かす
ラグノオのいのち一個分のいのち
二人して鱈を食う金曜日
大空の真下命の匂いす

先月号の
お気に入り

瀧尻善英【たきじりよしひで・青森県八戸市】

毒舌を今は我慢の福寿草
ホームベースだと思つてた踏む地雷
昭和から届く昭和の落とし物
風神と雷神お供に連れ歩く
認知症塗りつぶす白いクレヨン

宝石箱 第2釘と櫻花

柳本恵子

心臓に一番近い字ランの第二ボタンと日本海軍の特殊滑空機。これはもう宝石箱以外の保管場所が見つかりません。

先月号の
お気に入り

春が来た上書き保存しちゃったよ 守田啓子
昨年までは、母と見た桜。今年からは、娘と孫と見ることに。

先月号の
お気に入り

旦那です 出汁のよくでる鰹節 芝岡かんえもん
私は鰹節か！そつですよ。まだまだ出汁をいっぱい出せませうよ。

田中 薫【たなかかおる・青森県弘前市】

七色に輝くみちしるベミニズ君
土埃の中に涙終わりにしよう
一つ成し遂げたかのような花びら散る
みーつけた端っこの隅隅のハート
マタギロード逃走中に君を知る

先月号のお気に入り
つぼくなつたつばい匂いの中にいて 守田啓子
深い匂です。ありがとうございます。

夏草ふぶき【なつくさふぶき・青森県青森市】

変身ができるはずだと乗るリヤカー
老齢の花に枯れない技がある
変人が好きで自分が大好きで
3拍子のジャズが心地よく響く
老人にならないように老いてみる

先月号のお気に入り
では聞こうゴジラは森へ帰れるか むさし
ってことは元々はゴジラは森にいたのですね。

辻井洋子【つじいようこ・青森県青森市】

ついて来る月に行き先聞いてみる
終活もパンダは竹を食べている
老犬の散歩を見てる雨の中
○△□いろいろあつた古手帳
ストレスが抜ける気がする鯉のぼり

先月号のお気に入り
割といいかも並んで見る夕陽 一帆
いいですね、こんな情景。

鳴海賢治【なるみけんじ・青森県つがる市】

本当のことは言わないくもり空
ひろいあつめるだれのものでもないものを
障害になつております万歩計
おやゆびこゆびまちがいがしています
たいへんなときですあとはねんごろに

先月号のお気に入り
納豆のネバネバ尻尾生えてきた 坂本清乃
納豆の効果が浮かびます。尻尾がよかったです。

舟木小柳【ふなきこりゆう・青森県青森市】

万博の旅費がほしいよ誰かくれ
湯上がりのミルクセーキで過去へ飛ぶ
トランプの一喜一憂ババを引く
顔立ちも意地の悪さも親ゆずり
菜の花の臭いで迷路抜けられず

先月号のお気に入り
しみじみボールの中はレクイエム 吉見恵子
今後しみみを食す時は、鎮魂いたします。

まみどり【まみどり・青森県黒石市】

ひと息をついたあたりで花曇り
寒いのか暑くなるのか目覚め次第
人並みの目盛りが狂い始めたか
ぐうたらな一日ばかり過ぎていく
鍛えなきや季節について行かなくちゃ

先月号のお気に入り
朝寝坊残る命の無駄遣い 舟木小柳
でもさあ早起きは苦手なの。

まきぎん【まきぎん・青森県青森市】

注意書きなんて見てない聞いてない
値下げしました私の幸福度
後悔がドンドコドンと上昇中
あの時の写真だ笑っているようだ
通過駅ばかりで今日も雨ざんげ

先月号のお気に入り
夢という文字がぼやけて掴めない 辻井洋子
年々ぼやけがおおきくなりますよね。

三浦蒼鬼【みうらそうき・青森県黒石市】

水洗いした手と繋がっている尿意
同じ匂いがするから鍵が外される
大切な思い出ゴミになる途中
通りかかった縁でこの世に雨宿り
譲れない位置で地鳴りを聴いている

先月号のお気に入り

峯島 妙【みねしまたえ・大阪府大阪市】

台湾と冷やし中華の分岐点
梅雨空を酸辣湯が降り注ぐ
しゅわしゅわと弾ける水玉の微熱
天上天下きいてるのは星の声
ハイターに漬けおき洗いは疑惑

先月号の
お気に入り

転んでも手を貸さないでくれますか まきこ
これは転んだ人にしかわからないですね。痛恥ずかしく
て火が出そうになります。

宮井いずみ【みやいいずみ・大阪府大阪市】

カミキリムシの柀へ分類された蝶
契約書なくて神経戦となる
トランプの凶々しさが欲しい夜
曇天へ仕切り直しをする煉瓦
ごくごく飲み干す新緑の螺旋

先月号の
お気に入り

妻の生理のガラス破片とダリア
そんな時代もありました
尾崎良仁

村井規子【むらいのりこ・青森県大鰐町】

心より身体の老いが早い怖い
好奇心今日も私に声かける
貯金箱ばかりあって中身無し
わたくしの老後はサトウのご飯だな
悩んでも何があっても好きこの世

先月号の
お気に入り

村上あつこ【むらかみあつこ・青森県青森市】

だんだんとできないことが増えて春
今朝の食事も思い出せない何食べた
顔は分かるが名前が出ないあんな誰
母からのボケの遺伝子継いでいる
来年のボケはどこまで進んでる

先月号の
お気に入り

訳あって三人称で泣いている
どんな訳か気になります。
Sin

守田啓子【もりたけいこ・青森県三沢市】

小数点以下のどんぐりでございます
輪廻転生 次の満月までに
羽つけてます不適切だとしても
明確な殺意のあった波の音
おおむねはアオサギだろうサギだろう

先月号の
お気に入り

転んでも手を貸さないでくれますか まきこ
せつないけど、強く生きなくっちゃ。。。。

柳本恵子【やなぎもとけいこ・奈良県奈良市】

今日生きて赤花豆の花に逢う
箱庭いでてほんとの空をながめつつ
月見草咲くゆつくり自己嫌悪
コンクリートブロックそれとも夏の雲
拝啓と書いて雨だれ数えている

先月号の
お気に入り

骨埋める土地の桜の紅の濃さ
の・の・の・が小気味よいです。昔から桜の下には、
吉田州花

葉閑女【ようかんによ・青森県青森市】

流行に乗り遅れるという特技
好物は悪夢 酒には興味なし
分身の花が咲いても雨ばかり
さみしいと樹々もざざめく二十五時
歌のように歌う マロニエの木蔭

先月号の
お気に入り

告白も余興のひとつとして聴く
そんなあ。思い切って告白した人がわいそう……。
斎藤泰子

むぎわし【むぎわし・青森県蓬田村】

花の吐息をたつぷり入れたハンバーグ
星空へときどき影を干しに行く
おいそこのあおり運転名を名乗れ
東洲斎歌麿という詐欺師A
地獄行き乗り放題のバスが来る

と二度寝する

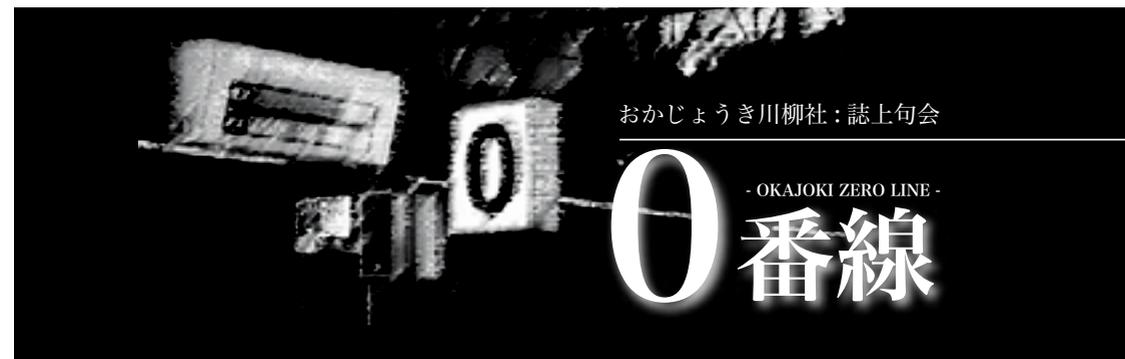
6月7日(土) 午後2時～ アウガ5F 小会議室

▼出席者(16名)

熊谷冬鼓・舟木小柳・綺星柳皇・守田啓子・夏草ふぶき・渡邊こあき・葉閑女・Sin・田中薫・高木まあこ・きさらぎ彼句吾・野沢省悟・むさし・笹田隆志・小野五郎・須藤しんのすけ

▼投句者(21名)

嵯峨山登・岩根彰子・城後朱美・斎藤泰子・村井規子・まきこ・まみどり・安藤なみ・柳本恵子・芝岡かんえもん・亥の一・米山明日歌・戎 踊兵・鳴海賢治・村上あつこ・奥田悦生・峯島妙・宮井いずみ・一帆・郷田みや・坂本清乃



課題と選者(2句詠・共選)

題: 『金』

選者

妹尾 凜 (秋田県)

むさし (青森県)

7/31 〆切

投句方法

※誠に申し訳ありませんが、郵送・FAXでの応募は受け付けておりません。

▼ウェブサイトからの応募

[投句フォームを開く](#)

作品応募フォームから必要事項を記入して送信してください。

▼メールで直接送信

[メールで投句する](#)

メール本文内に「作品(2句まで)」「郵便番号」「住所」「氏名または雅号(ふりがな)」「電話番号」を明記し、送信してください。

投句料(※おかじょうき川柳社会員は無料です。)

1,000円

◆振込先: 郵便振替 No.02280-6-43112 口座名 おかじょうき川柳社

賞

特選の方に青森県特産品を贈呈。

席題『ドア』

青森県青森市 熊谷冬鼓選

【佳作】

ヨシキリに誘われ青いドアが開く 葉 閑女
 怪しげなドアだ肥満になりそうだ 葉 閑女
 ドア見たら先ずはノックをしたくなる 高木まあこ
 回転ドアはないちもんめ滑り込む 舟木小柳
 さて次はどんな扉に出会うやら 葉 閑女
 四方八方にドアを付けてもまだ独り きさらぎ彼句吾
 ヤミ金の回転ドアから出られない 小野五郎
 あの頃の夕やけに会う戸を開ける 守田啓子
 ドアにある曠野を少年は開く 野沢省悟

「どこでもドア」はあるノブがないだけで
 戦場にどこでもドア贈りたい S i n
 みんな逝ってそれからずっと開かずの間 綺星柳皇
 わたくしが灰になったら開くドア きさらぎ彼句吾
 夏草ふぶき

ドアのむこうではにかんでいる古古古米 葉 閑女
 軍隊が帰ってこない自動ドア 小野五郎

【秀逸】
 ガザの子よどこでもドアで逃げて来い 舟木小柳
 ノック3回5月のSOSとして S i n
 どあひらくうばすてやまがまつていた 野沢省悟

【特選】
 どこでもドアがついてるばあちゃんの背中 守田啓子
 『怖いものなしのばあちゃんは最強。』

席題『ドア』

青森県青森市 舟木小柳選

【佳作】

ドアノブにびっくりマークが掛けてある 熊谷冬鼓
 怪しげなドアだ肥満になりそうだ 葉 閑女
 ドアの手前の津軽海峡冬景色 葉 閑女
 ドアのむこうではにかんでいる古古古米 葉 閑女
 ドア閉めてシャネル五番を封じ込む 夏草ふぶき
 どこでもドアがついてるばあちゃんの背中 守田啓子
 あの頃の夕やけに会う戸を開ける 守田啓子
 ノック3回5月のSOSとして S i n
 身ひとつをドアTODアで運ばれる 渡邊こあき

ヨシキリに誘われ青いドアが開く 葉 閑女
 軍隊が帰ってこない自動ドア 小野五郎
 切り替えのドアが見えない霧の中 田中 薫
 スマホにはブラックホールのドアがある 野沢省悟
 わたくしが灰になったら開くドア 夏草ふぶき
 みんな逝ってそれからずっと開かずの間 きさらぎ彼句吾

【秀逸】
 後悔のドアでピンポンダッシュする S i n
 四方八方にドアを付けてもまだ独り きさらぎ彼句吾
 ドアの「ア」に濁点つけたのは誰だ 葉 閑女

【特選】
 ドアにある曠野を少年は開く 野沢省悟
 『まさにこれから人生の扉を開ける少年に、ガンバレと声援を送りたくなる一句。』

宿題『眠る』

青森県蓬田村 むさし選

【佳作】

眠りの森の美女も後期高齢者
 大の字になって星空抱いて寝る
 満月だもの眠るなんて勿体ない
 眠ったまま彼岸に行けるなら良いな
 王子様来なくて永遠に眠り姫
 あの日からハートは眠ったままなのよ
 週末は王子の来ない眠り姫
 よく寝れば負の方程式が解けますよ
 目覚めたら絶滅危惧種になっていた
 吊り革にお地藏さんになってみる
 寝落ちしてはる鯛焼きの尻尾
 喪主のあいさつ続きます眠ります
 うつらうつらとまだ漂っているこの世
 働く犬と目が合う寝たふりの2号車

まきこ
 奥田悦生
 城後朱美
 村上あつこ
 渡邊こあき
 まきこ
 亥の一
 柳本恵子
 亥の一
 安藤なみ
 岩根彰子
 鳴海賢治
 斎藤泰子
 柳本恵子

眠りたい線路へ語りかける月

眠るならやつぱりア行からです

まアいいかって感じて今日も目を瞑る

夢から醒めるあら寅さんになっていた

時効成立命の塊と眠る

お隣のベッドにトルコ軍楽隊

【五客】

明け方の夢に顔出す志賀直哉

仮眠するソファアの凹みから発芽

いつまでも眠れぬ夜は夢を書く

目覚めない私を揺するのは誰だ

たんぽぽのよな寝癖つけてるのが天使

【人位】

寝返りを打つたび森が深くなる

【地位】

吾輩は仮死状態の花である

【天位】

指切りの後ろめたさと二度寝する

「何だ！この二度寝の理由は。」

宮井いずみ

郷田みや

戎 踊兵

芝岡かんえもん

須藤しんのすけ

小野五郎

小野五郎

小野五郎

郷田みや

村上あつこ

熊谷冬鼓

きさらぎ彼句吾

峯島 妙

峯島 妙

S i n

S i n

S i n

S i n

宿題『派』

青森県黒石市 高木まあこ選

【佳作】

いつだって多数派ですがまだ何か
 梅雨前線派手な啖呵で迎え撃ち
 派遣兵発砲先はひまわりだ
 夏至を忌み冬至を愛でる山男
 追い詰めた方が良い句だぎりぎり派
 玉虫色でのらりくらりと尾根をゆく
 現実派なんと虚しい朝が来る
 魂を抜かれてルージユ派手に咲く
 目に青葉ひっそりと死にたい派です
 輪の中で尻尾立てなきや腐っちゃやう
 無党派にされちゃうごによごにしてる間に
 派閥入り商品券でいいですか
 付度はしない派しゅわわソダ水
 宵越しの家は持たない派なのです

まきこ
 宮井いずみ
 坂本清乃
 葉 閑女
 村井規子
 きさらぎ彼句吾
 城後朱美
 一 帆
 守田啓子
 きさらぎ彼句吾
 熊谷冬鼓
 渡邊こあき
 宮井いずみ
 綺星柳皇

どちらかと言えばその場派泥の川

遅刻魔が慎重派だと主張する

派閥ですど真ん中にはイトミミズ

ネコ派なの貴女好みにならないわ

女偏でくくられるのはもう嫌だ

属すのは苦手菜っ葉の種を蒔く

【五客】

エバラのタレたつぷりかける印象派

派閥ってひょうたん島にありますか

くせ者の証なんです無味無臭

ため息が上手になって派を抜ける

ルノアールの憂鬱 6月の風のこと

【人位】

わたくしに嘘と本音の派閥あり

【地位】

無糖派のあなたの愛が燃えにくい

【天位】

守秘義務が派のミの中にある

「どんな派なのか気になります。」

安藤なみ

熊谷冬鼓

鳴海賢治

峯島 妙

きさらぎ彼句吾

斎藤泰子

斎藤泰子

笹田隆志

むさし

まみどり

野沢省悟

S i n

芝岡かんえもん

芝岡かんえもん

米山明日歌

米山明日歌

野沢省悟

野沢省悟

宿題『自由詠』

青森県三沢市 守田啓子選

【佳作】

企みはどうした指先の記憶
 いくつもの風船を割り古希となる
 前髪が決まらないのよ咲けないよ
 六月の「もう」で始まる一日目
 多種多様受け入れますよいぶし飼い
 旨すぎてねじねじパンに憑依する
 だんだんと酸味をおびてきた踵
 ヘイ・ジュード灯りを抱いて生きて行く
 さみしいなら海を見ないで翔びなさい
 切手まであなた好みで貼ったのに
 嘘一つ病理検査にまわされる
 美しく咲くより笑われて落ちる
 真つ当に老いてみたくて夕日呑む
 初鳴き開花なんでも知っている手帖

まみどり
 芝岡かんえもん
 きさらぎ彼句吾
 戎 踊兵
 坂本清乃
 宮井いずみ
 米山明日歌
 奥田悦生
 葉 閑女
 亥の 一
 柳本恵子
 まみどり
 夏草ふぶき
 葉 閑女

十和田たてがみ川柳会五月句会

○日時 令和7年5月10日(土) 午前10時から

○会場 十和田労働福祉会館

○参加者 木村奈生美・佐藤まさあき・斉藤蛙井・

白山修治・瀧尻善英・福田芳記・村上昌子・高

田幸柳

○投句者 城後朱美

■席題 『遊ぶ』

白山 修治 選

【平抜き】

毎日が精一杯の遊びです
 船遊び彼女と漕いだ初デート
 路地裏の昭和にあったケンケンパ
 蒲公英の綿毛と遊ぶ子は無心
 遊ぶ子ら見守る空に手を合わせ
 遊んでるように見えても優等生
 遊んでるわけにいかない失業者
 脳トレのゲーム楽しむ高齢者

村上 昌子
 佐藤まさあき
 瀧尻 善英
 瀧尻 善英
 高田 幸柳
 佐藤まさあき
 福田 芳記
 木村奈生美

三成の飼うライオンが夜這いする
 不都合の全てを夜のせいにする
 謎解きが始まっている通夜の席
 こどものオモチャでしたみじん切りです
 わたくしを縦に流れていく男
 いつになつたら空を泳げるか

【五客】

茹でこぼす構ってもらえぬ言葉ごと
 バケツに戻りたい膝をくずしたい
 こめかみが何かを言いたそうにする
 パレードが通る 日常の鳩尾に
 前向きにまずはトイレを掃除する
 【人位】
 癩癩持ちだったハンケチの四隅
 【地位】
 生意気な空を磨いたのは誰だ
 【天位】
 いつからか信号待ちのままのまま
 『この先はゆっくり遠くまで。』

S i n

熊谷冬鼓
 きさらぎ彼句吾
 斎藤泰子
 S i n
 斎藤泰子
 岩根彰子
 須藤しんのすけ

【秀逸】

ブランコを響かせ待った寺の庭
 ゆつたりと言葉の森で遊ぶペン

村上 昌子
 木村奈生美

【特選】

少子化の風に閉鎖の遊園地

木村奈生美

■席題 『遊ぶ』

瀧尻 善英 選

【平抜き】

船遊び彼女と漕いだ初デート
 遊んだら心機一転無我夢中
 ゆかいだな本日晴天水遊び
 日常に遊び心は潤滑油
 何処どこ孫探してのお遊戯会
 やれ塾だ遊び疲れを知らない子
 少子化の風に閉鎖の遊園地
 毎日が精一杯の遊びです
 【秀逸】
 遊んでるように見えても優等生

佐藤まさあき
 白山 修治
 斉藤 蛙井
 白山 修治
 佐藤まさあき
 福田 芳記
 木村奈生美
 村上 昌子
 佐藤まさあき

遊んでる預貯金狙う財務省

福田 芳記

【特選】

ゆつたりと言葉の森で遊ぶペン

木村奈生美

■宿題 『哀れ』

高田 幸柳 選

親が逝き哀れになった実家の灯

木村奈生美

欲張らず静かな暮し心掛け

白山 修治

散る桜哀れと感じるうた心

斉藤 蛙井

哀愁の度に人間強く生き

木村奈生美

国のため哀れいさかに狩り出され

斉藤 蛙井

捨てられた名刺は哀れかもしれぬ

城後 朱美

健康でも鳥インフルで全処分

福田 芳記

ガザの子をなんとかしたい明日が無い

瀧尻 善英

注ぎ込んだ外れ馬券が宙を舞う

佐藤まさあき

【秀逸】

ネグレクトだけ子どもはママが好き

瀧尻 善英

地上出て短い夏を終える蟬

佐藤まさあき

甘すぎた羨を悔やむ時が来る

城後 朱美

■宿題 『熱い』

互選

① 幸せね熱中できる趣味もてて

福田 芳記

② ペン握る熱く燃え付くまで走る

木村奈生美

③ 熱い人 今は冷たく立つ石碑

斉藤 蛙井

④ 熱爛を少し多めの妻の留守

佐藤まさあき

⑤ 頭を下げる熱意に負けて首を縦

白山 修治

⑥ 競り合って熱く沸かせる名勝負

瀧尻 善英

⑦ 戦無き八十年を熱く聞く

村上 昌子

◆十和田たてがみ川柳会7月句会案内◆

【時】7月19日(土)午前10時から【所】十和田労働福祉会館【宿題】(各題三句詠)『植える』・福田芳記選／『うつつり』・佐藤まさあき選【互選】(一句詠)『うつつり』当日出席者のみ(句せんの裏に柳号記入)【席題】『当日発表』(二句詠・共選)選者は、瀧尻善英ほか出席者から一名【投句先】〒034-0212 十和田市米田字桜平 72 高田幸柳宛

【特選】

被爆者の語り部がまた一人減り

瀧尻 善英

■宿題 『甘い』

木村奈生美 選

【平抜き】

プレイボーイ甘い言葉でひきうける

福田 芳記

プロポーズ 甘さを増したラテアート

瀧尻 善英

怪しげな ロマンズ詐欺の甘い声

佐藤まさあき

詰め甘く二度手間かかる情けなさ

白山 修治

隠蔽の尻尾がチラリ甘い詰め

瀧尻 善英

甘い水時々吸わせ搾り取る

高田 幸柳

じゃあまたね あれから五年まだ会えぬ

村上 昌子

明日は未知甘い約束して元氣

村上 昌子

甘過ぎず絶妙な距離保つ仲

高田 幸柳

【秀逸】

甘言の裏に悪意の落とし穴

白山 修治

だとしても戦後生まれは甘すぎる

城後 朱美

【特選】



藤田めぐみ【賞】青森県知事賞 1句 / 準賞 2句 / 佳作 7句【投稿先】〒036-0383
黒石市緑町 2-79 北山まみどり Tel 090-4639-4224

□ 2025.07.31 2025年度 川柳研究誌上大会

【課題】(各2句・二人選) 『思もよらぬ』大竹洋(東都川柳長屋連) / 片倉卯月(川柳研究社) 共選・ 『地が出る』小林信二郎(川柳甲斐野社) / 加藤ゆみ子(川柳研究社) 共選・ 『ぴしゃり』大野征子(足立川柳会) / 白井靖孝(川柳研究社) 共選・ 『肩透かし』北山まみどり(黒石川柳社) / いしがみ鉄(川柳研究社) 【投句方法】応募用紙(コピー可)、または便箋へ1行置きに。住所、氏名、電話番号を明記、一人1口まで。【投句先】〒353-0006 埼玉県志木市館 2-3-6-1403 のべふゆは方川柳研究誌上大会事務局【投句料】1,000円(切手不可) 発表誌【締切】2025年7月31日(当日消印有効)【問合せ】Tel: 048-472-8885(川柳研究誌上大会事務局)【賞】合点5位まで楯・30位まで記念品(同点は着到順)【発表】「川柳研究」誌10月号【主催】川柳研究社

□ 2025.08.31 『満天の星』第3回誌上川柳大会

【課題と選者】(各題2句・未発表で参加者オリジナル作品に限る)『歴史』小沢史・西沢葉火共選 / 『おかげさま』宮井いずみ・月波与生共選【投句方法】①葉書・封書で郵送(用紙自由・住所・お名前・電話番号・メールアドレス記入)②メールでの投句も受け付けます(件名に「第3回誌上川柳大会」の記載をお願いします)【投句料】1口1,000円(定額小為替・現金・振込・切手不可) 振込先・・・ゆうちょ銀行 記号18470 番号26946011(ナラヒロシ)※1人何口でも応募できます(会員・誌友は1口無料)【締切】2025年8月31日(消印有効)【発表】「満天の星」第7号に掲載(ご投句者全員に柳誌贈呈)【賞】選者ごとの特選賞として青森県産りんご1ケース【投句先】〒038-0211 青森県南津軽郡大鰐町大鰐川辺11-25 月波与生 Mail:tukinamiyojyo@gmail.com 【問合せ】投句先までお問い合わせください【主催】満天の星 後援(一社)全日本川柳協会

川柳の大会情報をお寄せください。

□ 2025.07.01 第76回一朶の雲 まつやま川柳誌上大会

【募集期間】令和7年6月1日(日)～7月1日(火)消印有効【課題・選者】(各題2句・未発表の作品に限る)『もっと』松山 斉藤美恵子・大阪 くんじろう共選 / 『ネット』今治 川上ますみ・石川 岡本聡共選 / 『比べる』三重 青砥たかこ・福岡 梅崎流青共選 / 『顔』青森 北山まみどり / 鳥取 新家完司共選【投句方法】○未発表作品に限ります。各題共選ですので両方とも同じ句を書いてください。○所定の投句用紙(コピー可)を使用し、参加費とともに送付先へお送りください。【投句料】1,000円【送付先】〒799-3121 愛媛県伊予市稲荷537-17 山内もところ方「第76回一朶の雲 まつやま川柳誌上大会」係あて

□ 2025.07.31 第一回アンジェリカ川柳大会(完全オンライン)

【課題・選者】二句詠『白』兵頭全郎(大阪) / 『香』真島久美子(佐賀) / 『肌』八上桐子(兵庫) / 『舌』飯島章友(東京) / 『音』Sin(青森) / 『雑詠』笹田かなえ(青森)【投句料】1,100円 川柳アンジェリカWEBサイトからオンライン決済(クレジットカードまたは銀行振込) 現金不可【投句方法】川柳アンジェリカWEBサイトから投句フォームで投句【結果発表】川柳アンジェリカサイト特設ページにて上位句の発表・2025年9月中旬以降を予定 / 投句者リターン: 披講動画・選者ご出演の動画リンク、全結果PDFをメール添付にて送付【呈賞】各選者特選6名にAmazonギフト券5,000円【投句・投句料受付・連絡・問合せ先】川柳アンジェリカWEBサイト <https://www.senryugelica.com> → 「川柳アンジェリカ」で検索

□ 2025.07.31 第35回 青森県民文化祭・文芸コンクール募集

【投稿】投稿作品はすべて自作・未発表に限る。二重投稿、同一作品、酷似作品があった場合、入選・入賞を辞退していただくことがあります。はがきは表面、原稿用紙は末尾に郵便番号、住所、氏名(必ずフリガナ、ペンネームの場合は本名も付記)、電話番号を記入。【参加料】無料。応募は一人1部門。【締切】令和7年7月31日(木) 必着【入賞発表】10月上旬、県内新聞三紙での発表をもって入賞通知に代えさせていただきます【表彰式】令和7年11月9日(日) 於:ねぶたの家ワ・ラッセ(青森市安方1丁目1-1 Tel 017-752-1311【入賞作品集】希望者は110円切手5枚同封し、〒030-0915 青森市小柳1-9-16 千葉芳醇 宛に郵送で申し込み【川柳部門題材】「雑詠」一人3句(ハガキに限る・裏面は作品のみ)【選者】むさし・三浦蒼鬼・井上健蔵・滋野さち・

会員登録はこちらのフォームから申し込みください。

おかじょうき川柳社 お問い合わせ先

●投句以外のことについてはこちらへ●

熊谷冬鼓 toko@okajoki.com FAX.017-752-3759

終着駅 Sin

◆今回は少し言語学のお話を。言語学では有名なトピックであり、100年もの間、論争され続けてきた「象は鼻が長い」問題。みなさんも学校で主語や述語、助詞、動詞など国語の文法を習ったと思うし、川柳を仕立てる時でもその習った文法を使って書いていると思うが、それでは前掲の「象は鼻が長い」、この主語はどれだと思うだろうか？（……考える時間……）

◆我々が学校で習う日本語の文法は「橋本文法」というのが採用されている。「橋本文法」というのは、橋本進吉という東京大学文学部卒の言語学者・国語学者が唱えた説である。その「橋本文法」ではこの「象は鼻が長い」は二重主語という解釈になっている。まず「象は」が主語で、「鼻が長い」が述語。その述語内に「鼻が」という主語と「長い」という述語があるということのようである。腑に落ちなくもないと思うが、例えば、これをそのまま英語にした時、「Elephant is (象は) nose is long (鼻が長い)」となってしまう。なので、他言語では必ず「象」の「鼻は長い」に置き換えられる。ただ、我々日本人は「象は鼻が長い」という文法をなんの違和感もなく使い、理解できる。この感覚が日本人に英語が不得手な人が多い要因になっているのかもしれない◆その「橋本文法」以前はどうだったかということ、「三上文法」というも

のが主流であり、「三上文法」ではどう解釈されていたかということ、「象は」は主語でなく主題であり、「鼻が」が主語であるというものだった。主題と主語の違いもこの短い文章ではわかりづらいと思うので、ここで夏目漱石の「吾輩は猫である」の書き出しを引用してみる。

「吾輩は猫である。名前はまだ無い。」

この「名前はまだ無い。」だけを抜き取ると、何の名前？となるが、その前に「吾輩は」という主題が設定されていることで、おのずと読む方はその主題が続いていると理解して読んでいる。その後も

「どこで生れたか」と見当がつかぬ。何でも薄暗いじめじめした所でニャーニャー泣いていた事だけは記憶している。」

と、「吾輩は」という主語がなくても、「吾輩」を主題とした文が続いていく。これが「三上文法」による「象は」が主題であるという主張である◆川柳でも「てにをは」の使い方に気をつけなさいとよく言われるが、「は」の使い方は特に注意したほうがいいし、これを逆に利用して句を仕立ててみるという面白さもある、という言語学の少し楽しいお話でした◆ Sin

おかじょうき川柳社 作品募集案内

□ 2025.07.05 川柳ステーション 2025

【日時】令和7年7月5日(土) 13時受付【事前投句】2句詠・二人共選・6月25日締切(投句フォームあり・欠席投句拝辞)『声』むさし・Sin 共選【宿題】『自由詠』6句をご用意下さい。当日、参加者から選者を3人発表しますので、それぞれの選者に2句ずつ提出してください。句会後おかじょうき川柳社・Podcast《おかボキ》公開録音!があります。お楽しみに!!【場所】リッチモンドホテル5階ブリリアンテラス(JR青森駅東口より徒歩17分)(Tel:017-732-7655/青森市長島1-6-6)【会費】6000円(句会・懇親会費込)【主催】おかじょうき川柳社

□ 2025.07.17 「川柳吟行会ぼ」7月吟行句会

【日時】令和7年7月17日(第3木曜日) 移動手段:奥羽本線(青森駅9:04発~弘前駅9:38着)⇒弘南線乗り換え(弘前駅9:50発~10:14着)⇒猿賀神社方面へ【吟行場所】猿賀神社・蓮の花池周辺【集合場所】各自吟行・昼食後「さるか荘」前12時【合評句会】12時~15時予定出句数:3句 場所:「さるか荘」恵比須の間(平川市猿賀池上45-1 ☎0172-57-5316) 参加費:500円(部屋料金込み) ※会員以外の方の参加可・直接集合場所に来られる方は080-3334-3759(冬鼓)へ要連絡⑩合評句会の場所の関係で第3木曜日になりました。

□ 2025.07.20 おかじょうき会員雑詠集「無人駅」5句

【締切】7月20日必着【提出】雑詠5句、お気に入り1句(最新号からお好きな作品1句とそれに対する簡単なコメントも記入)【掲載】9/1発行号【ウェブサイトからの投句】<http://www.okajoki.com/>【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛

□ 2025.08.02 おかじょうき川柳社本社8月句会

【日時】8月2日(土) 午後2時~【所】アウガ5階小会議室【投句締切】8月1日(金)15時【宿題】(各題3句詠)『走る』『費』『自由詠』【席題】1題3句詠・2人共選。選者は当日の参加者より選出【川柳ラボ】互選句『お盆』1句【ウェブサイトからの投句】<http://www.okajoki.com/>【メールでの投句】moriko@okajoki.com 守田啓子宛

川柳ステーション

2025年7月1日発行（年12回発行）第30巻7号通巻376号
 ●発行人／むさし●編集／Sin●発行／おかじょうき川柳社●表紙題字／金子榮風
 青森県東津軽郡蓬田村阿弥陀川字汐千43-13 ●E-Mail:info@okajoki.com

おかじょうき川柳社 Podcast
「おかポキ」公開録音!

川柳ステーション2025の会場でおかじょうき川柳社 Podcast 「おかポキ」を公開録音します！
 当日の特選句をテーマに作者と選者の思考を深掘りしてみたいと思います。ですので、参加者の誰が出演するか誰にもわかりません（笑）
 そんなユルユルな企画ですが、録音風景なんかもお楽しみくださればと思います（笑）

M.C. Sin・むさし/ゲスト：当日の特選者

【Podcastとは?】インターネットで聴ける音声配信のことです。ラジオと違い、いつでも好きなタイミングで聞くことができるのが特徴です。

事前投句（2句詠・二人共選・6/25 ㊞・欠席投句拝辞）

「声」むさし・Sin 共選



宿題（2句詠・3人選）

「自由詠」

自由詠6句をご用意ください。当日、参加者から選者を3人発表しますので、それぞれの選者に2句ずつ提出してください。

2025.7.5 (土) 13:00
受付開始

■場所：リッチモンドホテル 5F ブリリアンテラス（JR 青森駅東口より徒歩 17 分）
 (TEL.0017-732-7655 / 青森県青森市長島 1-6-6)

■会費：6,000 円（句会・懇親会費込）